

介護過程論

《担当者名》高橋 由紀 t-yuki@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

個別のニーズを的確に把握し、計画的に介護を実践・評価していく科学的な問題解決法であることを介護実習経験を踏まえて学ぶ。また他職種との連携の重要性、その中でより専門性の高い介護を提供するために介護過程の実践的思考とスキルの習得を目指す。

【学修目標】

1. 介護実習の経験を踏まえ、利用者の心身および生活環境の変化に応じて柔軟に展開する必要性を理解する。
2. 利用者を中心とした支援を実現するために、多職種との連携や説明と同意を含めた専門職としての役割を理解し、適切に判断できる力を身につける。
3. 利用者の心身および生活環境の変化を踏まえ、介護過程を一連の流れとして整理し、説明できる。
4. アセスメントを基に、利用者を中心とした個別援助計画を立案できる。
5. 介護計画の実施内容を記録し、その結果を基に評価できる。
6. 多職種それぞれの役割を踏まえ、介護過程における介護福祉士の役割を整理し、説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	介護過程論、介護福祉実習の振り返り 授業内容の説明	高橋
2	コミュニケーションについて	コミュニケーションの必要性や留意点を理解する	高橋
3	コミュニケーションについて	コミュニケーションにはどのようなものがあるか挙げ、その特徴を考える	高橋
4	コミュニケーションについて	コミュニケーションが与える支援関係への影響を考える	高橋
5	コミュニケーションについて	受容・共感・傾聴の意義や技術上の留意点を考え、技法について学ぶ	高橋
6	社会資源の理解	家族、介護者を支える制度と社会資源を理解し、介護福祉士という専門職としての関わり方を考える	高橋
7	多職種との連携	介護サービス計画について学び、その中で介護過程を展開する上で介護福祉士が果たすべき役割について理解する	高橋
8	多職種との連携	各分野の専門職の働きを理解する	高橋
9	多職種との連携	専門職としての役割を理解し、連携の重要性を学ぶ	高橋
10	本人を中心とした計画の立案	個別援助計画の意義と目的について理解する	高橋
11	本人を中心とした計画の立案	事例を基に、グループでアセスメントを行う	高橋
12	本人を中心とした計画の立案	前回の事例アセスメントの発表、検討、模範回答を行い、多面的理解を深める	高橋
13	本人を中心とした計画の立案	利用者を中心とする目標設定の理解	高橋
14	本人を中心とした計画の立案	個別援助計画の立案と内容の検討	高橋
15	本人を中心とした計画の立案	個別援助計画の発表・検討・共有を行う	高橋
16	死生観について	自らの死生観と向き合い、グループで話し合い、気持ちを共有できることの大切さを理解する	高橋
17	死生観について	映像資料を用い、死について多方面から考える	高橋
18	介護過程における実施と評価	介護過程における実施の意義について理解する	高橋
19	介護過程における実施と評価	実施記録の書き方を理解する	高橋
20	介護過程における実施と評価	評価の意義、重要性について考え、理解する	高橋
21	介護過程における実施と評価	評価の手順、介護計画の修正について理解する	高橋
22	介護過程の説明と同意	介護サービスを受ける本人と介護者の立場を理解する	高橋

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
23	介護過程の説明と同意	専門職として、説明をし同意を得ることの重要性を理解する	高橋
24	地域で暮らす障がい者の支援のついて知る	どのような支援を受けながら地域で暮らしているのか当事者の話を聴き、その支援の在り方について考える	高橋
25	地域で暮らす高齢者の支援の活用方法について知る	地域で暮らしている高齢者の支援が、在宅生活においてどのように活かされているのか、管理者からの話を聴き、自立支援にむけた介護について考える	高橋
26	一連の介護過程を展開する	様々な事例から介護過程を展開し、グループでの発表・検討を行う その介護過程においての説明を行う	高橋
27	一連の介護過程を展開する	様々な事例から介護過程を展開し、個人発表・検討を行う その介護過程においての説明を行う	高橋
28	一連の介護過程を展開する	様々な事例から介護過程を展開し、個人発表・検討を行う その介護過程においての説明を行う	高橋
29	一連の介護過程を展開する	様々な事例から介護過程を展開し、個人発表・検討を行う その介護過程においての説明を行う	高橋
30	まとめ	全体の振り返り 4年次介護実習 に向けて	高橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験（筆記試験）50％ 発表30％ 提出物20％

【教科書】

介護福祉士養成講座編集委員会編『最新・介護福祉士養成講座9 介護過程 第2版』中央法規 2022

【備考】

この科目は介護福祉士国家試験受験資格取得のための「介護過程」に該当する。

【学修の準備】

講義ごとに次回のテーマについて伝えるので、事前に教科書の該当箇所を読んでおくこと。また、分からない語句等は調べておくこと。（予習2時間）

授業終了後に提示した課題について調べ、要点をまとめておくこと。（復習2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1.人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3.社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門職領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

介護福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。